

## 学内の活動

### Craft, Fabrication and Sustainabilityプロジェクト

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] と株式会社TABが参加するプロジェクト。それぞれの持つスキルやノウハウ、手法を共有し、手仕事とデジタルファブリケーションを組み合わせた持続可能なスモールビジネスのためのプラットフォームをつくることに挑戦している。今年度の主な活動として、1年生が「463.5 : 750.0」を制作して学内外で展示したほか、2018年2月の展覧会「IAMAS」においてAI、VR、デジタルファブリケーションを扱った作品「Room 1」を展示した(詳細はプロジェクト成果報告書に記載)。

### 入学試験委員会

2017年4月に入学試験委員会の委員長に就任して以降、社会人短期在学コースを中心にした新しいカリキュラムの編成を推進した。社会人短期在学コースに関しては、広報委員会との連携により2018年2月に募集要項を完成、ウェブサイト上で公開したほか、3月末に詳細を説明するための記事を公開した。

## 学外の活動

### Field Hack YOSANO

Field Hackは、全国のエンジニア、デザイナー、プロジェクトマネージャーなどがチームとなり、地域で設けられるテーマにテクノロジーで挑むプロジェクトである。地域で活動する協力者やコーディネーターと共にフィールドワークを行い、そこで見つけた課題や可能性をもとにアイデアを練り、お互いのスキルを掛け合わせて作りだしたプロトタイプを現地で実際に試してみることを目指すことにより、クリエイティブな人々の地方における在り方を短期間の活動を通じて探求することを目的としている。

2016年5月に宮城県牡鹿郡女川町で開催した第1回、同年11月に岩手県遠野市で開催した第2回に続いて、2017年6月から7月にかけて京都府与謝郡与謝野町で第3回を開催した。絹織物の一大産地として知られ、自然循環農業を推進する与謝野町で開催したこの回には、織物、ヘルスツーリズム、発酵の3つのテーマに対して全国から21名が4つのチームとして参加した。

最終日のプレゼンテーションにおいては、全てのチームが動作するプロトタイプを発表し、一部のチームにおいてはイベント終了後も成果物を発展、公開に向けてプロジェクトを継続している。また、このイベントをきっかけにした地域間および参加者間での交流が生まれている。第1回、第2回の経験を踏まえて実施した第3回においては開催内容を充実させることができた一方で、イベント終了後の継続性には課題が残った。まだ萌芽的な段階にある取り組みであるため、長期的視野に立って継続的な開催の可能性を探りたい。

(詳細は2017年度の本学産業文化研究センター連携報告書に掲載)

<http://www.field-hack.com/>



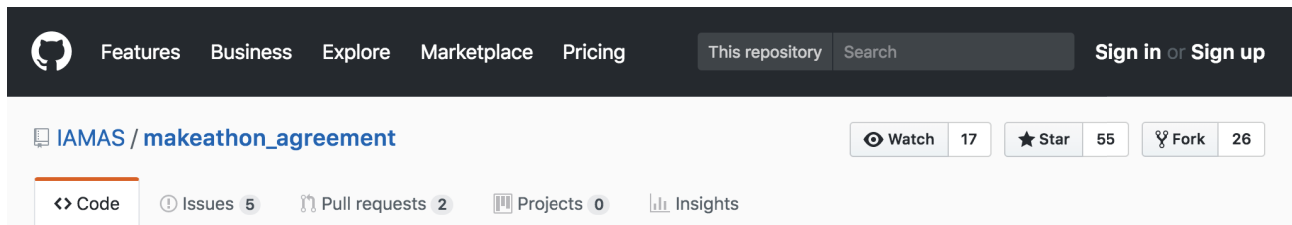
最終発表会におけるプレゼンテーションの様子

## 共同研究

前年度に引き続き、文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム(センター・オブ・イノベーションCOI STREAM)」の1つ「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」に関してポリシーグループのリーダーとして研究に参画した。この研究の成果の一つとして、「ハッカソン/メイカソン参加同意書と終了後の確認書およびFAQ」に英文版を追加し、公開した。これは、法律の専門家である弁護士の監修のもと作成した、ハッカソンやメイカソンにおいて、主催者側、参加者側の双方にとって適切に知的財産を取り扱うことまでを盛り込んだ参加同意書、およびイベントが終了した後、その中での成果とその後の扱いをどのようにするか、公開時の成果物の扱いを確認する書類、およびその解釈を具体例で示したFAQである。既に国内のイベントにおいてはリファレンスとして普及しており、今回の英文版追加により、さらに広く活用されることが期待できる。

[https://github.com/IAMAS/makeathon\\_agreement](https://github.com/IAMAS/makeathon_agreement)

なお、この他に株式会社電通との共同研究、および株式会社十六銀行との共同研究に取り組んだが、知的財産の権利化に向けての準備等の事情により、研究成果に関する公開は行わない。



The screenshot shows the GitHub repository page for IAMAS / makeathon\_agreement. At the top, there are navigation links for Features, Business, Explore, Marketplace, and Pricing. Below these are search and sign-in options. The repository name is displayed as IAMAS / makeathon\_agreement, with statistics for 17 watches, 55 stars, and 26 forks. Below the repository name, there are tabs for Code, Issues (5), Pull requests (2), Projects (0), and Insights.

ハッカソンやメイカソンにおいて、主催者側、参加者側の双方にとって適切に知的財産を取り扱うことまでを盛り込んだ参加同意書、およびイベントが終了した後、その中での成果とその後の扱いをどのようにするか、公開時の成果物の扱いを確認する書類、およびその解釈を具体例で示したFAQです。法律の専門家である弁護士の監修のもと作成しました。

<https://docs.google.com/forms/d/1161...>



The screenshot shows the file list for the repository. It includes 13 commits, 4 branches, 5 releases, and 1 contributor. The file list includes:

File Name	Description	Commit Time
FAQ.md	ハッカソン/メイカソン参加同意書および終了後の確認書	3 years ago
README.md	ウェブサイトへのリンクを更新	6 hours ago
agreement.md	ハッカソン/メイカソン参加同意書および終了後の確認書	3 years ago
agreement_en.md	英文版を追加	9 hours ago
confirmation.md	Fixed minor formatting issues	3 years ago
confirmation_en.md	英文版を追加	9 hours ago
idea_sketch_examples.jpg	Engadget電子工作部in岐阜で使用したバージョンを公開	4 years ago

目録 README.md

## ハッカソン/メイカソン参加同意書と終了後の確認書およびFAQ

昨今、多様な参加者が参加して共にアイデアをつくる「アイデアソン」、それをソフトウェアとしてつくる「ハッカソン」、さらに見たり、触れたり、感じたりできるものも含めてつくる「メイカソン」が盛んに開催されるようになりました。そうしたイベントでは、多様なスキルや視点、経験を持つ人々が競争することで知的財産が創出され、事業化に向けて進めていこうという事例もでてきました。こうした状況により、イベントの主催者や参加者間において、知的財産を適切に扱うためのルールが求められています。

また、参加の動機や期間中の貢献度、その後リスクをとって事業化まで進めていきたいと考えるかどうかは同じチームの中でも参加者ごとに異なります。時間が経過した後のトラブルを避けるためにも、終了後に参加者間で成果物とその後の扱いを確認し、書面で残しておくことが望ましいのですが、なかなか難しいというのが実情です。

そこで、主催者側、参加者側の双方にとって適切に知的財産を取り扱うことまでを盛り込んだ参加同意書、およびイベントが終了した後、その中での成果とその後の扱いをどのようにするか、公開時の成果物の扱いを確認する書類、およびその解釈を具体例で示したFAQを、法律の専門家である弁護士の監修のもと作成しました。今後開催されて行くハッカソンやメイカソンで、参加者と主催者、双方にとってイベントの成果物やそれに関する知的財産等が適切に扱われ、共創から新しいビジネスや産業が生まれ、持続可能な社会になっていくことを期待して、ここにテンプレートとして公開いたします。

なお、この同意書とFAQは、文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム（センター・オブ・イノベーションCOI STREAM）」に明治大学が中核機関になり、COI-T（トライアル）拠点として採択された「感性に基づく個別化循環型社会の創造」の一環として、連携機関の1つである情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] において作成されました。

免責事項：

このドキュメントは、ハッカソンやメイカソンにおける試行錯誤やノウハウを蓄積および共有することを目的としています。著者、著作権者、イベント主催者等のイベント関係者は、このドキュメントに掲載した情報の利用によって、利用者または第三者等に何らかの損害が発生したとしても、かかる損害については一切の責任を負うものではありません。掲載内容に誤りがあった場合も同様です。

『ハッカソン/メイカソン参加同意書と終了後の確認書およびFAQ』はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス【表示-継承 4.0 国際】で提供されています。なお、本ライセンス8.cの規定にしたがい、本ライセンス3.a.に規定する【表示】に関する条件または権利を明示的に放棄いたします。したがって、本同意書と確認書の派生物をつくる方は、本ライセンスが求める権利者名の表示を行わないでも、本同意書と確認書を利用することができます。

それぞれのイベントで使用する場合には、それぞれのイベントに合わせて改変し、その結果を同じライセンスの元で公開してください。また、二次利用の際には可能な限りGitHub上でforkし、派生関係がわかるようにしてください。